

# 神戸市介護サービス協会 だより

神戸市介護サービス協会 〒651-0086 神戸市中央区磯上通3-1-32 神戸市社会福祉協議会内  
TEL 078(271)5326 FAX 078(271)5366  
URL <http://www.kaigo-kobe.net>  
E-mail [kaigo@with-kobe.or.jp](mailto:kaigo@with-kobe.or.jp)

## ◆ CONTENTS ◆

「介護ノート」をご存知ですか .....	1・2	協会の活動状況 .....	8
「介護保険制度に関する要望書」を提出しました .....	3	神戸市からのお知らせ .....	8
第1回研修会について .....	4・5	市民福祉大学より .....	8
カイゴのお仕事(訪問看護師) .....	6	個別加入のご案内 .....	8
研修会のご案内 .....	6	編集後記 .....	8
ホームページのご案内 .....	7		

## 「利用者の介護情報が共有しやすい！」と介護現場で大活躍！ 神戸市介護サービス協会 発行「介護ノート」をご存知ですか？



### 「介護ノート」とは？

利用者ご本人やご家族、介護サービス事業者や医療関係者等が、介護に関する情報を記入し、共有するためのノートです。

現場からの意見を踏まえ、協会の部会で検討を重ねて作られ、平成16年1月から販売しています。1冊60円(送料別) / A4サイズ・56ページ 購入方法は次ページをご覧ください。

### どのように使うの？

利用者ご本人の持ち物として、2種類以上の介護サービスを使われている方やひとり暮らしで認知症のある方などにお使いいただけます。

ご利用者宅(枕元など)に置くほか、通院や通所サービス利用時に持って行くのもよいでしょう。関係者が順次記入し、時間順に記録されるので、利用者の変化がわかりやすく、サービス提供の参考になります。

### 「介護ノート」の中身は？

#### サービスを提供する事業者・担当者の一覧

介護サービスを提供している事業者・担当者の一覧です。  
各サービス事業者の方々は、初回サービス提供時に、該当欄に事業者名、担当者、電話番号をご記入ください。  
(担当者変更になった場合は、担当者名を訂正ください。)

サービス種類	事業者名(上段) 電話番号・Fax(下段)	担当者氏名
ホームヘルパー	☐ ( ) Fax ( )	
ヘルパー	☐ ( ) Fax ( )	
訪問看護	☐ ( ) Fax ( )	
訪問リハビリ	☐ ( ) Fax ( )	
訪問入浴	☐ ( ) Fax ( )	
通所介護	☐ ( ) Fax ( )	
通所リハビリ	☐ ( ) Fax ( )	
ショートステイ	☐ ( ) Fax ( )	
ケアセンター	☐ ( ) Fax ( )	

### 手作り「介護ノート」もできます！

これらの様式は、協会ホームページからダウンロードできます。  
<http://www.kaigo-kobe.net>  
コピーしたものを綴じてお使いいただくこともできます。

#### サービス提供時の様子など

日時	本人の様子	バイタル・特記事項
8/29 (日)	夏バテのせいか、あまり食欲がない様子。夜には少し熱もありました(37.3℃)	血圧 / 脈拍 / 分 体温 ℃ 服薬 <input type="checkbox"/> 朝 <input type="checkbox"/> 昼 <input type="checkbox"/> 夜 <input type="checkbox"/> 就寝前 水分摂取( )cc ( : )尿摂取 食事摂取( ) ( : )尿摂取 排便: <input type="checkbox"/> 有 ( ) <input type="checkbox"/> 無 排尿: <input type="checkbox"/> 有 ( ) <input type="checkbox"/> 無 口腔ケア・状態 ( )
8/30 (月)	熱があるのを、入浴は避けて下さい	血圧 158/92 脈拍 68 /分 体温 37.2℃ 服薬 <input type="checkbox"/> 朝 <input type="checkbox"/> 昼 <input type="checkbox"/> 夜 <input type="checkbox"/> 就寝前 水分摂取( )cc ( : )尿摂取 食事摂取( ) ( : )尿摂取 排便: <input type="checkbox"/> 有 ( ) <input type="checkbox"/> 無 排尿: <input type="checkbox"/> 有 ( ) <input type="checkbox"/> 無
15:00		
記入者	提供サービス	その他特記事項・連絡事項

サービス提供時の様子やバイタル記録、伝言などそれぞれの立場で必要な事柄をご記入ください。

- サービス提供時のご本人の様子・状態
- 他のサービス事業者への連絡事項
- ご家族からの連絡事項
- ご家族への連絡事項

など

いつでも連絡が取れるよう、関係者が各自記入してください。

巻末には「メモ」のページ(フリースペース)もあります。記録用紙に書ききれないことや留意事項などが記入できます。

## 毎年「介護ノート」を50～100冊ご購入いただいている事業所の方にお聞きしてみました

### ふれあい介護センター MGS (訪問介護事業所)

管理者 縄井 久子さん

#### 使い始めるきっかけは？

ケアマネジャーや初回のサービス担当者会議の参加者から「介護ノートを置きましょう」と勧められることが多いです。



#### 「介護ノート」が役立っている点は？

重複を避けるために料理の献立を記入していますので、食事に配慮が必要な方や状態が変動しやすい方に非常に役立っています。

昼間独居の方の場合、ご家族が昼間の様子を気にされて、必ず確認されていますし、医師もよく読んでくれます。認知症の方の場合、ヘルパー同士の引継ぎにも役立っています。

#### 「介護ノート」の代金負担(1冊60円)は？

代金は、利用者からいただいています。大学ノートより安いので、介護ノートに替えて代金がいただきやすくなりました。

### ヘルパー故郷の家・神戸 (訪問介護事業所)

サービス提供責任者 李 京美さん

#### 「介護ノート」が使いやすい点は？

「バイタル・特記事項」欄が使いやすいです。服薬チェックができるので、訪問看護師の方からもきちんと記入するように言われています。

巻末の「メモ」ページは、処方せんやふせんを貼り付けて薬の変更などの連絡用に活用しています。

また、黄色の表紙が目立つし、左上に穴が開いていて、ぶら下げることができるのも便利です。



#### 「介護ノート」以外のノートを使っている場合は？

事業者ごとに何冊もノートが置いてあったり、大学ノートを使っていたりする場合は、サービス担当者会議の時に「今のノートが終わったら介護ノートに切り替えませんか？」と提案したことがあります。

#### 「介護ノート」の代金負担(1冊60円)は？

代金は、利用者からいただいています。

### 領収書の様式を作成しました

利用者や家族に「介護ノート」代金をお支払いいただく際に、協会様式の領収書をご活用ください。介護ノートや協会についての説明入りです。

ご購入いただいた際に、介護ノートと一緒にお渡しますので、コピーしてお使いください。

## 「介護ノート」の購入方法

### 申込み方法

- 「介護ノート発注書」(上段部分)に事業所名、注文冊数、受取方法等の必要事項を記載してください。  
「介護ノート発注書」は協会ホームページ <http://www.kaigo-kobe.net> からダウンロードできます。
- 受取方法は、次の～からお選びください。  
宅配便(送料実費負担) <送料> 1～2冊 80円 3～5冊 160円 6～100冊 355円 101冊～710円  
協会事務局(こうべ市民福祉交流センター4階/神戸市中央区磯上通3-1-32)で受け取る  
開設時間: 月～金曜(祝祭日・年末年始を除く) 8:45～17:30 TEL 078-271-5326  
協会主催研修会会場で受け取る 研修会の予定は、協会ホームページでご確認ください。  
上記以外に、協会会員団体や神戸市ケアマネジャー連絡会等が主催する研修会等においても随時販売いたします。販売する場合は、協会ホームページでお知らせします。
- 「介護ノート発注書」を協会事務局へFAX(078-271-5366)してください。
- 協会事務局から発注事業所あてに、代金等が記載された「介護ノート受注書」(下段部分)をFAXで返信します。内容に間違いがないか確認してください。

宅配便なら発注書を受け取ってから3～4日でお届けできます。協会事務局ならお電話いただければ即日お渡しできます。

### 支払い方法

#### 宅配便で受け取る場合

- 同封の「郵便振替払込書」により、お近くの郵便局から払込期日までにお支払いください。
- 払込手数料は、各事業所でご負担願います。
- 領収書は発行いたしませんので、払込受領証を保管願います。

#### 宅配便以外で受け取る場合

- 現金又は郵便振替払込のいずれかを選択してください。
- 現金の場合は、領収証を発行します。
- 郵便振替払込の場合は、「郵便振替払込書」をお渡ししますので、お近くの郵便局から払込期日までにお支払いください。領収書は発行いたしませんので、払込受領証を保管願います。



## 今年度も「介護保険制度に関する要望書」を提出しました

8月7日に神戸市保健福祉局に対して「介護保険制度に関する要望書」を提出しました。

この要望書は、介護保険制度に関する諸問題について、当協会運営委員会及び3つの部会で討議された意見をとりまとめたもので、厚生労働省に対して改善の要請を行うとともに、神戸市独自の対応策を実施するよう要望しました。

その後、9月3日に神戸市より回答があり、その内容を基に、9月11日に神戸市と当協会との意見交換会を開催しました。

意見交換会当日の様子  
(運営委員・部会員が出席)



### 要望1 介護労働者の確保・定着に関する支援策の実施

介護現場の人材不足に対応し、事業者が安定して質の高いサービスを提供するために、介護労働者の待遇改善につながるような介護報酬の引き上げを行うよう厚生労働省に要請をお願いします。また、神戸市としても積極的な支援策を講じるようお願いします。

**回答** 国に対しては、今後とも実態に見合った適正な介護報酬の改定を要望していきたくて考えています。支援策については、国の福祉人材確保指針において、市の役割は介護サービス啓発のための広報や従事者研修の実施とされており、この指針に沿って取り組みを進める必要があると考えます。研修内容の充実や介護サービス事業のイメージアップについて、今後、検討していきたくて考えています。

### 要望2 認定調査の精度向上及び介護認定審査の充実

認定調査について、同行調査や研修内容の充実など、尚一層の精度向上を図るための取り組みをお願いします。また、介護認定審査についても平準化方法の検討や判断困難事例対応マニュアルの作成など、適正な判定が行われるような支援策の実施をお願いします。

**回答** 18年度の制度改正により認定調査の委託先を集約した結果、調査精度は全体的に向上しており、委託先検査や研修を実施して精度向上にも取り組んでいる他、介護者等からの事情収集や認定調査連絡票の活用により的確な状態把握に努めています。また、認定審査については、平準化委員会を設置し、事例検討研修を実施しました。また、判断困難事例対応マニュアルの作成についても検討していきます。

### 要望3 介護予防サービスの効果検証

介護予防サービスが、重度化防止や自立支援につながっているのか、神戸市としてもデータを分析・検証し、その結果を公表するとともに厚生労働省に対して予防給付や介護予防事業に係る見直しが適切に行われるよう要望をお願いします。

**回答** 18・19年度に介護予防ケアマネジメントを実施した要支援者の介護サービス利用状況や心身状態について、あんしんすこやかセンターから情報を得て集計・分析を行った結果、要支援者の約7割が生活機能について改善・維持していることがわかりました。介護予防ケアマネジメント・サービスに一定の効果があつたと評価しています。今後も評価を継続していきます。

### 要望4 介護予防支援にかかる基準等の見直し

介護予防にかかる介護報酬の引き上げ及び介護予防支援の取扱件数の制限緩和について一律に制限を行うのではなく柔軟に調整できるように厚生労働省に要望するとともに、神戸市としても事務の簡素化について検討・実施をお願いします。

**回答** 介護予防支援の取扱件数の一律制限については、市として問題点は理解していますが、利用者数増による介護報酬減額規定との整合性をとる必要があり、緩和にはなお慎重な検討を要すると考えます。

### 要望5 介護サービス提供事業者への指導内容の平準化

実地指導や監査について、各自治体の担当者レベルで差があると思われます。基準の解釈により回答が分かれることで事業者が混乱するため、神戸市においても平準化を図るとともに、各自治体への指導や監査における明確な指導を行うよう厚生労働省に要望をお願いします。

**回答** 介護保険制度の解釈について慎重を要するものは必要に応じて国や兵庫県に確認していきたくて考えています。統一的な基準の解釈については、集団指導の中で具体的な事例を挙げて説明しています。集団指導の資料をご参照ください。

### 要望6 介護保険制度に関する広報活動の充実

介護保険制度について市民から理解が得られるよう、継続的に多様な広報活動を積極的に実施するようお願いします。また、利用者・事業者の要望を把握した上で、既存の広報方法、説明文書等についても十分な見直しをお願いします。

**回答** 本年9月に予防給付についての市民向けリーフレットを、ケアプラン作成者の意見をお聞きして作成しました。今後ともご協力をお願いします。また、要介護認定申請者やご家族への通知の説明文等の見直しを進めていますが、分かりにくい箇所があればその都度ご指摘いただき、改善にご協力をお願いします。

各部会で出された要望で、要望書に掲載しなかった内容についても、意見交換を行いました。

協会では、引き続き行政への要望や意見交換を行い、よりよい介護保険制度を目指した取り組みを進めてまいります。

## ■ 第1回研修会を開催しました。 ■

平成20年9月20日(土)に、兵庫県立のじぎく会館において、平成20年度第1回目の研修会を開催しました。中西理事のあいさつに続き、特別養護老人ホームフィオーレ南海 施設長の柴尾慶次氏から「介護現場におけるリスクマネジメント」と題して講演をいただきました。続いて「ヒヤリはっとからの気づき」をテーマに、参加者が15グループに分かれグループワークを行い、柴尾氏より総括いただきました。講演の要約は以下のとおりです(文責：事務局)

### 「介護現場におけるリスクマネジメント」

講演

講師：特別養護老人ホームフィオーレ南海 施設長 柴尾 慶次 氏

#### リスクマネジメントの2つの柱

予防(事前対応)  
 事故が起こっていないから開催する リスクマネジメント委員会  
 リスクアセスメントが重要(多面的にリスクに対する情報収集する)  
 事故対策(事後対応・事中共対応)  
 事故が起こって開催する 事故対策委員会、再発防止委員会  
 初期対応がすべてを決める その場での適切な判断

#### リスクとは

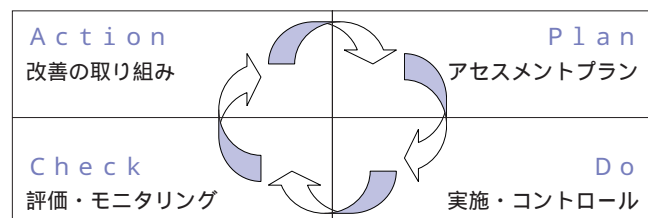
損失、損失の危険性、危険性そのもの  
 リスクは常に存在し、顕在的なリスクが、潜在化する過程を経て、インシデントが、いつかアクシデント(現前化)する。

いいケアを提供するとリスクを減らすことができると思われがちだが、表面的にはリスクが減ったように見えても、実際のリスクは潜在化している。リスクゼロはあり得ない。

リスクマネジメント=潜在的リスクをあぶり出す

#### リスクマネジメントのプロセス

P D C A サイクル



顕在的リスクが潜在化し、リスクマネジメントによって潜在化したリスクを再度顕在化させる、このようなスパイラル過程をとって、改善過程をとっていく。

例：ベッドから転落する可能性が高い  
 ベッドの回りに畳や布団を置いて、落ちたときのダメージを軽減  
 その畳や布団に他の人がつまづいたり、足元が安定しない上で介護をするという新たなリスクが発生

#### リスク情報の収集

インシデント情報、ヒヤリはっと、事故情報、苦情やクレーム、業務フローの分析  
 ただし事故情報をもとにカンファレンスすると、同種の事故の再発防止はできても、想定外の事故を防ぐことはできない。事故を防ぐには、ヒヤリはっとの活用が必要。

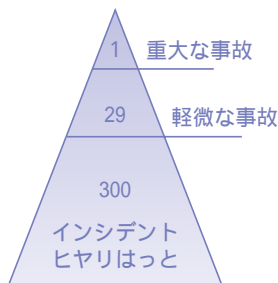
リスク情報をより多く集めて、どういった事故が予測できるかリスクマネジメント委員会で検討し、できるだけ早い時期に現場にフィードバックする。

#### ポケットティッシュ1個のリスクマネジメント

滑りやすい床に水滴が落ちている。  
 拭き取るものを取りに行っている間に誰かがそこで転ぶというリスクが発生している。  
 すぐにふき取れるように、毎朝、仕事に入る前にポケットティッシュ1個持っているか確認する。  
 目の前にあるリスクに対して、すぐできることをその場でする。  
 そういう意識が大事である。

#### リスク分析

ハインリッヒの法則



健康労働者が労災事故に遭う確率を1対29対300で統計上明らかにした法則であるが、介護の現場においては、軽微な事故であっても事故は事故であり30対300と考えるべき。  
 一般健康労働者は1対300の割合で重大な事故に遭うが、介護事業はもっとハイリスクの人を対象としているため確立はさらに高くなる。

ハインリッヒのドミノ理論

ドミノ倒しのようにリスクは連続して発生し、最後に事故というドミノが倒れる。

最後のドミノが倒れる前にどこかで止めれば(対策をたてれば)事故を予防できる。

スノーボール・モデル

雪玉が転がり落ちるように、ミスやエラーが重なって危険が増大していき、最後に事故が起きる。

リングルマン効果(社会的手抜き効果)

綱引きテストを1人ですると100%の力、2人ですると93%、3人ですると85%、何と8人ですると49%の力しか出さなくなる。

夜勤と日勤帯の問題として考えると・・・

夜勤者は物音がすると原因を探し回るが、昼間同じ音がしても、誰かが見てると思い、結局誰も見ていない、気がつかない所で事故は起こる。

社会的もたれ合いの影響があって、実は昼間の時間帯の方が事故は多い。



# カイゴのお仕事

## 第3回 訪問看護師



### 訪問看護師の仕事内容

住み慣れたご自宅で療養生活が送れるよう、疾病・障害を持ち、在宅で療養生活をなさっている方々のお宅に訪問し、かかりつけ医の指示の下に、専門的な立場で、それぞれの状態に合わせた看護を行います。

健康状態・特別な病状の観察に基づき、生活の質の確保を重視し、日常生活の動作能力を維持・回復させるべく日常生活（清潔・食事・排泄・保清等、ターミナルケア）の看護、及び指導、治療促進のため、創傷・褥瘡・その他の処置、医療機器使用者のケア、服薬指導・管理、リハビリテーション、等を行っています。又、様々な不安を持ちながらの生活に、葛藤し疲労している利用者・家族の悩み、あるいは、どうしたらよいか分からず、困っている方々の相談にのり、精神的ケア、介護指導をするなど、ご家族に対する支援も大切な仕事です。最近では、医療依存度の高い方への訪問も増加しています。365日24時間体制でフォロー・していくことが必要だと考えています。

### 訪問看護師の仕事の魅力

退院後、訪問を再開したスタッフは「顔が違って」と言います。今後の療養生活に不安を感じながらも、「家に帰って、ホッとした」と本人・家族の顔に安らぎが見えます。自宅のお風呂に入ったときの顔は格別です。

「あんたたちが来てくれるから安心」と・・・信頼していただける事が喜びです。

寝たきりで、少しからだを動かすだけでも「痛い！」と顔をしかめていた方が、立てた！「支えは要るが、私、立つことができました！」と感動する夫婦。

そんな場面に立ち会えたとき、訪問はいいなと思います。

### 関連職種の方に伝えたいこと

連携には、多職種との協調が上手くできることが必要！

病院関係者へ；退院後の生活を見つめた上での、療養に必要な準備ができないまま、本人家族共々に不安を抱きながら退院するケースが大変多くみられます。入院中、在宅準備期間に、家族にケア・医療的処置技術を習得してもらい、家の環境、受け入れ態勢を整えておくことが、在宅療養への移行が上手くいく鍵だと思います。地域連携室との連携を密接にしていきたいと思います。



主治医へ；病状の変化等あった場合、患者さんにとっても、私たち看護師にとっても先生は頼みの綱。煩がらず、今後ともよろしく願っています。

サポート体制の推進役ケアマネジャーさん、利用者の生活が一番良くわかっているヘルパーさん、嫌な顔せずいつも相談に乗っていただいている福祉用具サービス事業者さん、その他の皆さん、利用者に関わるサービス提供チームの一員として、連携を密にしていきたいと思っています。

適寿訪問看護ステーション 管理者 小林彌生

### 研修会のご案内

## 介護報酬改定の行方と介護予防の方向性 ~介護報酬改定のポイントと介護予防について考える~

講師：立教大学 教授 服部 万里子 氏

平成20年4月に実施される介護保険報酬改定をどう読むのか？ 事業の方向性を見極める重要な岐路に立たされているこの時期、緊急企画として、介護保険制度にも大変詳しい 立教大学コミュニティ福祉学部教授の服部万里子氏をお迎えし、見えてきた改定の内容について可能な限り具体的にお話いただきます。また、後半では、神戸市シルバーサービス事業者連絡会が平成20年7月に実施しました介護予防に関するアンケートを基に、パネルディスカッション方式で、居宅介護支援事業者、地域包括支援センター、訪問介護、通所介護の関係者の方々に介護予防の現状と今後の目指すべき方向性について議論していただく予定にしております。

日時：平成21年1月20日（火） 13：30～16：30（受付13：00～）

場所：神戸文化ホール 中ホール

神戸市中央区楠町4-2-2

市営地下鉄「大倉山」駅 西1番出口 徒歩1分

参加費：神戸市介護サービス協会 会員：無料 非会員：2,000円/お一人様

主催：神戸市シルバーサービス事業者連絡会

共催：神戸市介護サービス協会

申込み：お送りした研修会案内裏面、もしくは協会ホームページより

申込書をダウンロードし、FAXにてお申込み下さい。

問合せ：神戸市シルバーサービス事業者連絡会

居宅支援分科会事務局（株）ポート・リハビリサービス

電話：078-392-1101（担当：斉藤）

### 服部 万里子氏 プロフィール：

服部 万里子（はっとり まりこ）

立教大学コミュニティ福祉学部教授

69年早稲田大学第二文学部卒業。一般企業に就職の後、病院勤務のかたわら看護師資格を取得。89年服部メディカル研究所設立。99年社会福祉士、介護支援専門員の資格取得。00年NPO渋谷介護サポートセンターを立ち上げ、ケアマネジャーとしても勤務。城西国際大学福祉総合学部福祉経営学科教授を経て、07年より立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科教授。著書に『介護ビジネス実践ガイド』、『図解でわかる介護保険のしくみ』など。

## ホームページのご案内

神戸市介護サービス協会では、会員事業者の方々に介護保険に関連する情報や協会で作成しました様式類を提供できるように、ホームページを開設していますので、ご活用ください。

当協会ホームページへのアクセスはこちらまで <http://www.kaigo-kobe.net>

厚生労働省や神戸市の最新の介護保険情報等を掲載しています。兵庫県介護サービス情報ホームページにもリンクしています。

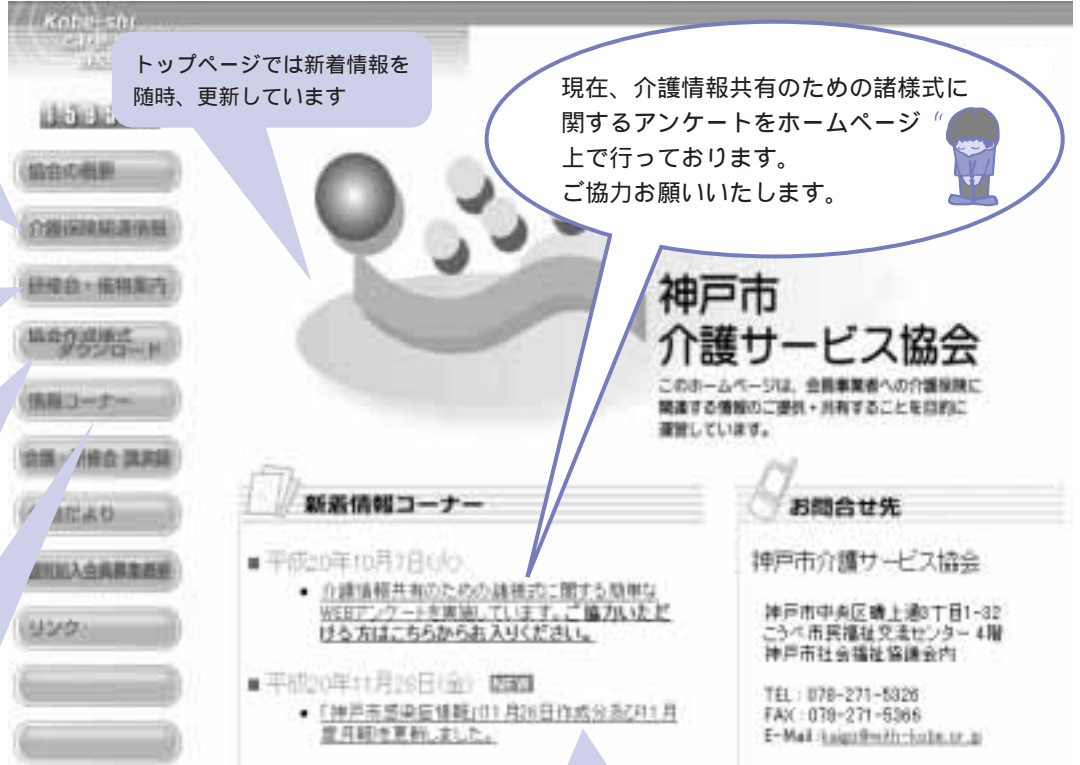
協会主催の研修会はもちろん、各団体で開催される介護保険関連の講習会や催物を掲載しています。

介護情報等共有のための諸様式や、介護ノート発注書など協会が作成した各種様式をダウンロードできます。

協会で作成した、マニュアルや手引き書がダウンロードできます。また、協会で開催したアンケートの結果やケアマネジャーの知っておきたい医学知識研修会のQ & A集を掲載しています。

トップページでは新着情報を随時、更新しています

現在、介護情報共有のための諸様式に関するアンケートをホームページ上で行ってまいります。ご協力お願いいたします。



その他、過去に開催した研修会の講演録や協会だよりのバックナンバーも掲載しています。

神戸市感染症情報センターが発表している「週報」を毎週更新しています。神戸市内のインフルエンザ等感染症の発生状況を確認できます。「月報」では、その時々感染症に関するトピックスが掲載されます。

## 神戸市介護サービス協会発行 便利ツール

協会の様式ダウンロード

ページよりダウンロードできます

サービス提供にあたっての介護情報等共有様式 使用説明をよく読んでお使いください。

- 様式1 FAX連絡票 (ケアマネジャー 主治医)
- 様式2 サービス担当学会議の開催について (ケアマネジャー 会議参加者)
- 様式3 利用者情報共有様式 (ケアマネジャー 介護サービス事業者・医療関係者)
- 様式4 介護情報提供書 (ケアマネジャー・介護サービス事業者・医療機関等)
- 様式5 診療情報提供書 (医師・歯科医師 ケアマネジャー)

いずれの様式もダウンロードすれば、アレンジしてお使いいただけます！

介護ノート

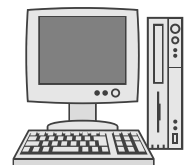
情報コーナー

ページよりダウンロードできます

在宅介護における感染予防マニュアル

認知症高齢者に対するケアマネジメントの手引き

ケアマネジャーに便利な主治医意見書に見られる略語と用語集



## 協会の活動状況

### 9月から12月までの動き

平成20年		
9月	4日	平成20年度第3回施設サービス部会
	8日	平成20年度第3回在宅サービス部会
	11日	平成20年度第3回居宅介護支援サービス部会
		平成20年度神戸市との意見交換会
	20日	平成20年度第1回全体研修会 (参加者132名)
25日	ケアマネジャーの知っておきたい医学知識研修会1日目(参加者160名)	
10月	2日	平成20年度第4回運営委員会
	14日	平成20年度第1回在宅サービス部会リスクマネジメント小委員会
	16日	ケアマネジャーの知っておきたい医学知識研修会2日目(参加者152名)
	20日	平成20年度第1回在宅サービス部会情報小委員会

11月	10日	平成20年度第4回在宅サービス部会
	13日	平成20年度第4回居宅介護支援サービス部会
		平成20年度第4回施設サービス部会
	22日	平成20年度総会・記念講演会 (参加者85名)
27日	ケアマネジャーの知っておきたい医学知識研修会3日目(参加者152名)	
12月	4日	平成20年度第5回運営委員会
	13日	平成20年度第2回全体研修会 (参加者138名)
	18日	ケアマネジャーの知っておきたい医学知識研修会4日目

### 今後の予定 (期日確定分のみ)

平成21年		
1月	8日	平成20年度第5回居宅介護支援サービス部会
		平成20年度第5回施設サービス部会
	19日	平成20年度第5回在宅サービス部会
	20日	神戸市シルバーサービス事業者連絡会との共催研修会

## 神戸市からのお知らせ 第4期介護保険事業計画(案)にかかる意見公募について

介護保険は、高齢者の介護を社会全体で支える制度です。介護保険事業の運営や65歳以上の人の保険料算定は、介護保険事業計画に基づいて行われますが、介護保険サービスを円滑に提供するため、事業の実施状況を点検し、3年ごとにこの計画の見直しをします。

神戸市では、現在「第4期介護保険事業計画(平成21年～23年度)」(案)を策定しているところです。この計画をよりよいものにするため、下記のとおり、みなさんの意見を募集します。いただいた意見は、平成21年3月に策定する計画に反映するよう努めていきますので、どうぞ幅広い意見をお寄せください。

募集期間 平成21年1月19日(月) まで

計画案の閲覧場所

- ・神戸市保健福祉局高齢福祉部介護保険課(神戸市役所1号館4階)
- ・各区介護医療係、あんしんすこやか係
- ・ホームページ(神戸ケアネット)にも掲載しています。

閲覧ができるのは、上記募集期間中です。

意見の提出方法

下記のいずれかの方法で、介護保険課までご提出ください。

- ・郵送 〒650-8570 (住所不要)
- ・FAX (078) 322-6049

・電子メール kobekaigohokenka@office.city.kobe.jp

・持参

その他

意見書の様式は自由です。必ず、住所・氏名・同案に対する意見であることを明記してください。なお、いただいた意見は、個人・法人などの権利・利益を害する恐れのある情報などを除き、概要を公表しますが、個別の回答はいたしません。

お問合せ先

神戸市保健福祉局高齢福祉部介護保険課計画担当

電話：078-322-6299 (直通)

## 市民福祉大学より 平成20年度 施設マネジメントセミナーのご案内

目的：少子高齢化の進行、介護保険法の改正、景気の低迷など、介護職をはじめ社会福祉施設の現場においては、高い離職率と相まって福祉人材の確保が非常に厳しい状況にあり、かつ将来にわたり、福祉・介護ニーズを的確に対応できる人材を安定的に確保・育成していくかが求められています。

本セミナーでは、福祉人材確保をめぐる動向をふまえ、社会福祉施設における人材確保・育成をはじめ職員定着の取り組み状況や課題を基に様々な事例を通じて具体的な対応策を学んでいただきます。

日時：平成21年2月3日(火) 10:00～16:30

テーマ：社会福祉施設における

人材の確保・育成・定着への取組の工夫と課題

～採用氷河期における職員の採用と定着の取組事例研究～

講師：阿野 英文 氏 (株)経営開発センター 専務取締役

対象：理事長など経営に直接関わっている社会福祉施設の役職員

主催：社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会 市民福祉大学

内容：10:00～12:00

1. 社会福祉法人を取り巻く環境の変化

2. 福祉施設職員の特徴

13:00～16:30

3. 福祉施設職員の統計データから見た現状

4. 福祉施設職員の定着・育成に向けた雇用管理改善

5. 福祉施設職員の採用・定着・育成に向けた取組み事例研究

6. 質疑応答

会場：こうべ市民福祉交流センター 3階 302教室

定員：40名(先着順・定員になり次第締め切り)

受講料：5,000円(当日受付にてお支払ください)

申込方法：所定の申込用紙に必要事項をご記入の上、郵送またはFAXにてお申し込み下さい。

お申し込み・お問合せ先：神戸市社会福祉協議会 市民福祉大学

〒651-0086 神戸市中央区磯上通3丁目1-32

TEL (078)271-5300・FAX (078)271-5365

### 個別加入のご案内

協会では、下記の団体加入会員(団体一括加入)の7団体に加入されていない法人・事業所等で、神戸市内で活動を行う介護サービス事業者を運営する法人・事業者や介護サービス関連事業を行う団体を対象に、個別加入の受付を行っています。

詳しくは、協会事務局までお問い合わせ、または協会ホームページをご覧ください。

団体加入会員(団体一括加入)

- 神戸市老人福祉施設連盟
- 神戸介護老人保健施設協会
- 社団法人 兵庫県民間病院協会神戸支部
- 神戸市シルバーサービス事業者連絡会
- 社団法人 神戸市医師会
- 社団法人 神戸市歯科医師会
- 神戸市薬剤師会

上記の7団体に所属する会員

### 編集後記

早くももう年末です。年賀状の準備をされていて思うのは、干支の回り方が早くなってるんじゃない？

今年は、一般市民の安全を脅かすような事件も多く、あまり明るい年とは言えなかったかもしれませんが、新しい年は良い年でありますように...

次年度は、介護報酬の改定もあり、介護報酬のUPにより職員の給与もUPすると報道されています。介護関連の仕事に就いている人はもちろん、一生懸命働いている人、働く意欲のある人が報われるような世の中になって欲しいと願います。